

主催：国立がん研究センターがん対策研究所

国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部「ナショナルセンターによる医療情報発信の基盤整備事業」



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

図書館でのより良い医療情報 提供のあり方を考える 2025

～科学的根拠に基づく予防・健康づくり～

11/13
(Thu)

16:00~18:00

開催方法：ZOOMウェビナー

定員：300名

参加費：無料 **事前登録制**

参加対象者：図書館でがん情報、医療情報を
取扱う関係者
医療情報に関心のある方



参加登録はこちらから <図書館総合展ホームページ>

つくるを支える、届けるを贈る「がん情報ギフト」プロジェクトでは、信頼できるがんの情報を、いつでも、どこでも、誰もが手にできる地域づくりを目指し、公共図書館に「がん情報ギフトセット」を設置する活動を進めています。このセットは2025年9月までに全国775館に寄贈され、多くの方々に活用いただいています。公共図書館はまさに、誰もが無料で利用できる地域の情報拠点、病気になる前から健康医療情報に触れられる身近な学習の場であります。

このたび、がん、認知症、循環器の病気などの予防や早期発見、健康づくりにつながる健康医療情報を、図書館で提供することについて考える講演会を開催します。

医療側から予防や健康づくりに向けた最新の取り組みと医療からみた健康医療情報のあり方の紹介、図書館側からは、病気前から誰もが健康医療情報に触れられる場として、その環境づくりや情報提供の実際を紹介いただきます。

そのうえで、予防・健康につながる健康医療情報を、低関心層の市民を含め「誰一人取り残さず」に図書館から届け、市民の実践にまでつなげるにはどのような可能性やアプローチがあるのかを話し合う場とします。

第2部では、がん情報ギフト「結ぶ」事業として、図書館と地域が協同した企画について、具体的取り組みを紹介していただきます。



日 時

2025年 11月 13日 (木)
16:00~18:00

プログラム

【第1部】シンポジウム <16:00~17:15>

・開会挨拶

松岡 豊 国立がん研究センターがん対策研究所 所長



知ってほしい、予防や早期発見・健康づくりにつながる健康医療情報

・医療・研究の立場から(1) ～がん～

和田 恵子 国立がん研究センターがん対策研究所
予防研究部 予防評価研究室 室長



・医療・研究の立場から(2) ～循環器の病気～

西村 邦宏 国立循環器病研究センター
予防医学・疫学情報部 部長



・医療・研究の立場から(3) ～認知症～

鈴木 啓介 国立長寿医療研究センター
先端医療開発推進センター長



・図書館の立場から ～利用者目線に合わせた情報提供と、
予防・健康づくりに向けた場づくり～

舟田 彰 神奈川県川崎市立宮前図書館 館長



総合討論

・パネリスト

和田 恵子 / 西村 邦宏 / 鈴木 啓介 / 舟田 彰

・コーディネーター・コメンテーター

八巻 知香子 国立がん研究センターがん対策研究所
がん情報提供部 部長



三村 麻子 国立がん研究センターがん対策研究所
がん情報提供部 研究員



【第2部】がん情報ギフト「結ぶ」事業 実施報告会 <17:30~17:50>

・塩尻市立図書館（長野県）：春休み！えんぱーく まるごとがん教室

・中部国際医療センターがん相談支援センター（岐阜県）
：がんに関する講演会 家族ががんになったとき、子どもは？

※ 本ワークショップは、2025年度正力厚生会医療機関助成ならびに令和7年度国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部 横断的研究開発費 横断的研究推進費により実施します。